

古くなった消火器の破裂事故

平成 21 年 9 月 15 日、大阪東成区の駐車場において、小学 4 年の男児が放置されていた消火器のピンに触ったところ破裂し、消火器の直撃を受けて意識不明の重体となる事故が発生しました。翌日には事故ニュースを知った福岡県の男性が、長年放置していた消火器を処分しようとした際に破裂し、顔にけがをしています。

この事故を含め、過去 10 年間に 10 件の破裂事故が起き、なかには死者が発生したケースもありました。

粉末加圧式消火器の中には小さな高圧ガスボンベが入っており、レバーを握ることにより、ボンベに穴があき炭酸ガスが噴出し、その勢いで粉末消火剤が放射される仕組みとなっています。

厨房などの湿気の多いところや雨風にさらされる屋外などに置くと、容器の劣化が早くなります。各事業所・家庭に設置してある消火器を今一度点検してください。

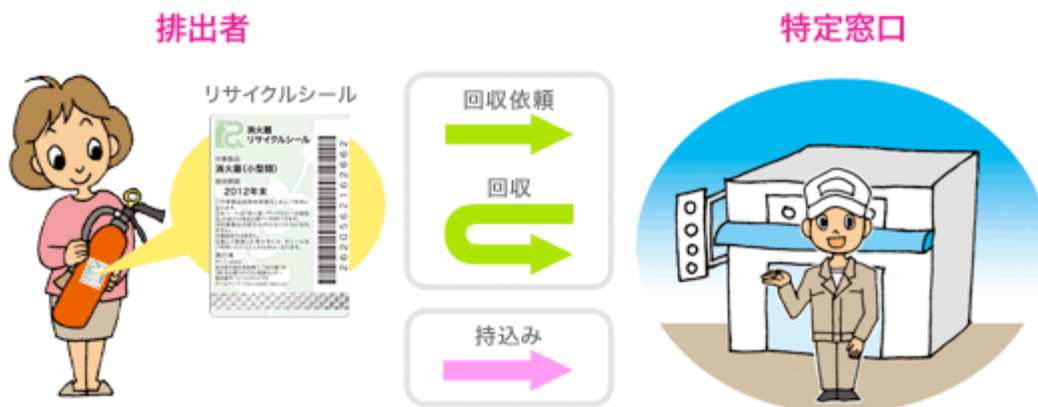
腐食している消火器



では、古くなった消火器はどう処分すれば？

消防署では消火器の収集を行っていません。
消火器の処分は（社）日本消火器工業会が地域の販売代理店（特定窓口）と協力して行っていますので、お近くの窓口へお問い合わせください

リサイクルシステムの流れ（<http://www.ferpc.jp/recycle/use/index.html>）



- ・リサイクルシールが必要です。
- ・リサイクルシール代以外に運搬費用・保管費用が必要です。
（料金は窓口へお問い合わせください。）

リサイクル申し込み窓口

（あいうえお順、最新の窓口情報は<http://www.ferpc.jp/accept/>で検索できます）

お近くに窓口が無い場合は郵送でも回収できます。

必ず、事前に電話又はインターネットで申し込みが必要です。

申込先 ゆうパック専用コールセンター

TEL 0120-822-306 ホームページ <http://www.ferecycle.jp>

このリサイクルシステムに関する問い合わせ先

（社団法人日本消火器工業会代理）

株式会社消火器リサイクル推進センター TEL03-5829-6773

ホームページ <http://ferpc.jp/>

菊池広域連合消防本部予防課

電話 0 9 6 - 2 3 2 - 9 3 3 8（指導係）

0 9 6 - 2 3 2 - 9 3 3 4（予防係）